

ごじょうめ

交通の便がよくてにぎやかな町に。



と石川明美さん（水沢）

友達の多くは、交通の便がよくて街がにぎやかな、秋田市など都市への就職を望んでいるようです。五城目町にもレジャー施設や若い人の集まれる場所があり、そして交通の便がよくてにぎやかな町になったらいいなあと 생각합니다。

近藤八雲さん（田町）は心のふれあえる町を望んでいます



五城目町は、自然に恵まれた環境の良い町です。町民同士が誰とでもあいさつを交し、心のふれあえる町づくりを進めたいと思います。例えば、自然を通じた学校間交流や、大人と子どもと一緒に楽しめる場の提供など、「親子デー」の設置はいかがでしょうか。

潤いとゆとりのある町づくりを、と



佐藤篤子さん（西野）

安心して子供達を遊ばせられるようなレジャー施設、子供達同士が触れあい、冒険できるようなゆとりある場所があったらいいですね。

子供達や家族の世話に追われる毎日ですが、主婦業と両立できるような職場も欲しいと思っています。

加賀屋誠さん（紀元町）は地場産業の育成が大事と言います



町づくりを考える時、企業誘致か地場産業の育成かと思う。僕は地場産業の育成しかないと思っています。今現在、ひ弱な地場産業を融合一体化する。新しい企業グループの誕生である。こんな夢みたいな事でも、やらないかぎり明るい未来は開けてこないかもしれない。

若い人が生き生きとした町を、と石井寿子さん（町村）



日中は、若い人が少なく淋しい町という感じがしますが、自然に囲まれた生活環境はすばらしいと思います。町には、若い人が集まって楽しんだり、働く場も少ないようですので、そういう職場を増やし、生き生きとした町を造って欲しいですね。

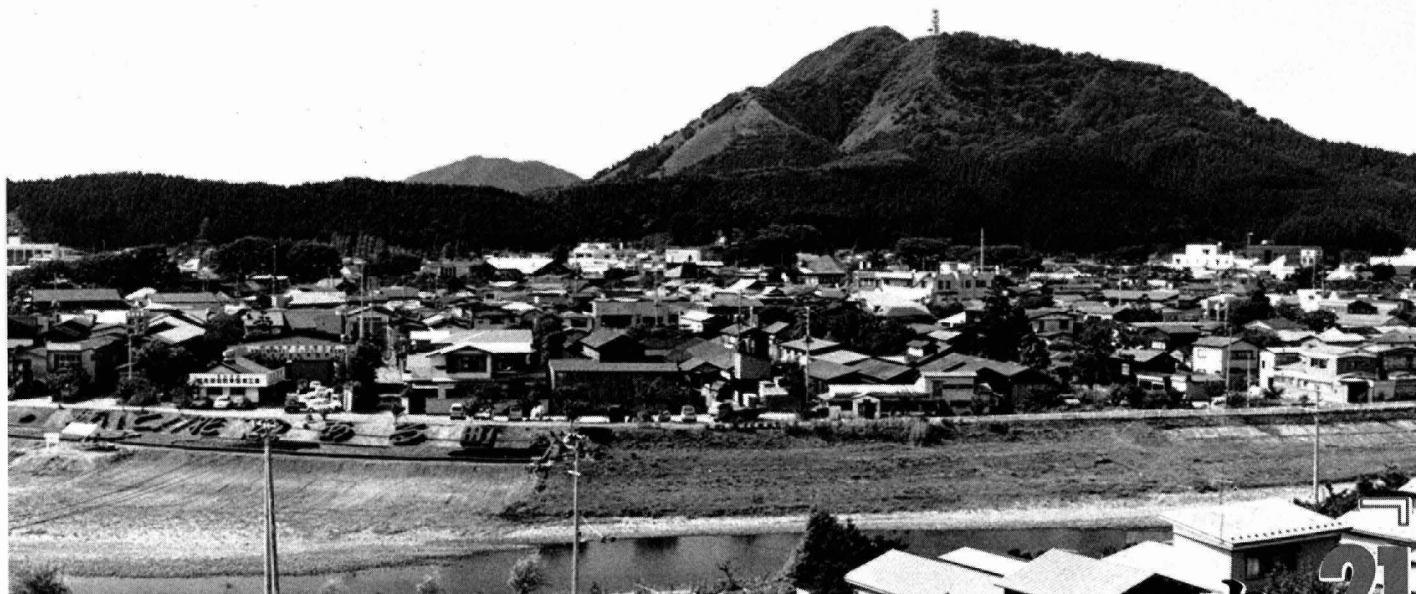
バランスのとれた町づくりを、と石井明さん（小倉）



産業の活性化や教育福祉の充実、そして環境の整備など課題はたくさんあると思います。五城目は木材の町でもありますので、木材を二次加工して付加価値の高い物を作るなどの工夫も。いずれ、バランスのとれた町づくりを進めて欲しいものです。

21世紀へのまちづくりに ついて私はこう思う...

- ・まちおこし町民100人会議・・・ 2・3
- ・杉沢小「緑の少年団」、県知事賞受賞・・・ 4
- ・ふれあい広場 6・7
- ・スポーツコーナー..... 8
- ・五城目の地名散歩 9



▲ 自然と調和しながら発展してきた五城目町、21世紀にはどのような変貌をとげるのか

『21世紀にむけて』

まちおこし町民二〇〇〇人会議 1月の答申に向けスタート

二十一世紀に向けての活性化を図るために設置された「まちおこし町民一〇〇人会議」の第一回会合が、八月二十三日、町民センターを会場に、委嘱を受けた百二十一人が出席して開かれました。

この一〇〇人会議は、歴史、文化、産業、教育、福祉など全般にわたって、広く町民から参加をいただき、その声を町政に反映させるとともに、少年には夢を、青年には希望を、壮年には充実した生活を、高齢者には生きがいを楽しめる町づくりの気運を醸成し、町おこしに資することを目的に設置されたものです。

農林水産振興部会

構成は、①総合調整会議、②農林水産振興部会、③商工観光振興部会、④教育文化振興部会、⑤福祉増進部会、⑥企業誘致部会の一会議・五部会。委員は百三十四人で、各界各層より幅広く参加していただきました。

農業、林業、内水面漁業等の振興策、さらには地域の特性を生かした特産品の開発などを図り、活力ある農村社会を形成するために必要な事項を建議します。

部会長 原田茂穂（富田）
副部会長 石井章司（黒土）

委員 石井邦憲（小倉）、石井忠光（中村）、石井敏雄（小野台）、石川政広（杉沢）、伊藤敬子（落合）、伊藤徹（八田）、小

玉加代子（西野）、小玉俊雄（北北口）、小玉俊子（湯ノ又）、佐

商工観光振興部会

新分野新製品の開発、販路の拡大および人材育成・確保など既存企業の育成、魅力ある商店街の形成、伝統産業の

継承等のために必要な事項を建議します。
部会長 坂谷陽作（田町）
副部会長 千葉千代美（湯ノ又）

委員 伊藤勲（大川）、伊藤寛（昭辰町）、伊藤柳（御蔵町）、伊藤与次郎（町村）、鎌田實（新畑町）、菊地成一（雀館）、工藤国雄（川原町）、工藤義男（紀久栄町）、小玉久夫（雀館）、佐々木春雄（新町）、佐藤重信（谷地中）、佐藤秀樹（岩城町）、椎名チサ（田町）、鈴木秀雄（曙町）、高堂義宏（米沢町）、館岡正一（下高崎）、原田啓蔵（富田）、本間忠司（新畑町）、宮城清之助（蓬内台）、山口裕（古川町）、和田喜武（米沢町）、渡部和子（仲町）、渡辺正志（長町）

教育文化振興部会

幼稚園、小中学校教育の振興と環境整備、地元県立高校の振興策、ならびに社会教育、家庭教育、社会体育および文



▲ 国道 285 号線バイパスは町の正面玄関



町民100人会議について

五城目町長 佐藤 邦夫

「町の人口減少に少しでも歯止めをかけ、町に生き生きとした活力をよみがえらせたい」とすることは、町民等しく願いとすることです。

やがて来る21世紀に、五城目町が「どう生きてゆくか」について、そのグランドデザインを創りあげることが、高速交通体系の時代を迎えていこうとする当町にとって、最も緊急かつ重要な課題であります。

このために、一人でも多くの町民の皆様の声をいただき、また町政に参画いただき、町民の皆様と行政が心をひとつにして、町活性化に向けて取り組むことは何よりも大切であり、また意義深いものがあります。

この願いをこめて、ここに「町民100人会議」がスタートをきりました。産業、経済、教育、文化、町民生活と環境、福祉等あらゆる分野にわたり、中味の濃い御討議をお願い致したいと存じますし、「町民の手」による手づくりの「町づくり」を期待申し上げ、また、21世紀へのとびらをひらいていただきますようお願いいたします。



▲町おこしのかぎをにぎる“朝市”、その起源は500年前にさかのぼる

化活動、コミュニティ活動等の進展と歴史・遺跡文化の掘り起こし、さらには長寿社会に対応した地域の特色ある教育文化の振興に必要な事項を建議します。

部会長 藤本正善（今町）
副会長 山平秋明（新町）
委員 阿部善孝（富田）、石川富司（館町）、伊藤市太郎（築地町）、伊藤悦郎（町村）、伊藤鉄郎（新畑町）、岩見誠夫（富津内小学校）、貝田日出子（一番町）、加藤政光（下山内）、工藤ミネ子（上田町）、小玉忠夫（長町）、小玉康夫（高田）、今野昭一郎（東磯ノ目）、猿田政博（上樋口）、柴田喜芳（古川町）、菅礼子（館町）、田口誠一（長町）、畑沢千恵（湯ノ又）、藤井弘（新畑町）、船木光彌（雀館）、松浦修作（小池町）、宮田裕司（新畑町）、渡辺兵衛（古川町）

福祉増進部会

幼児、児童の健やかな成長、母子（父子）家庭および心身障害対象者との連帯、高齢化社会に対応するための福祉施設の整備、さらには花嫁・花婿対策など民生安定に関する必要な事項を建議します。

部会長 千田良次（岡本）
副会長 佐々木勝太郎（広ヶ野）
委員 伊藤重孝（落合）、伊藤久夫（黒土）、伊藤信子（町村）、伊藤容一郎（石崎）、一関敏弘（久保）、北嶋悦子（川原町）、北島格一（新町）、工藤初子（上田町）、黒沢功（水沢）、小杉田啓一（今町）、小玉輝雄（町村）、小玉律子（田町）、近藤芳雄（浦横町）、齊藤幸作（昭辰町）、佐藤貞（古川町）、佐藤信和（秋田保健所五城目支所）、高津智（新町）、館岡晴作（上高崎）、

企業誘致部会

若年層の定着を促進するため、魅力あり、かつ、関連業者との連動をも期待できる企業の誘致を早期に実現するために、中央企業への積極的なPRと情報収集、さらには条件整備や場所の選定等について必要な事項を建議します。

部会長 加藤千雄（新町）
副会長 今村龍雄（御蔵町）
委員 浅野淳悦（大川）、安部明子（希望ヶ丘）、荒川達雄（畑町）、伊藤敏夫（秋田末広繊維）、伊藤誠（上樋口）、加藤満郎（石崎）、小玉早苗（浦横町）、児玉誠昭（雀館）、齊藤喜美雄（岡本）、坂谷研一（今町）、桜田紀元（大



▲町おこしの拠点の一つ「馬城橋」

川、佐藤伸夫（五城目高校）、島崎照隆（下樋口）、館岡和子（高崎）、鍋谷鶴芳（長町）、畠山和男（富田）、畠山順太郎（一番町）、松橋有一（西磯ノ目）、宮川栄子（帝釈寺）、宮田正（畑町）、村上栄（新畑町）、渡辺辰美（古川町）

総合調整会議

各部会から建議された主要事項を協議調整し、町づくりに対する総合的な案を100人会議の承認を経て町長に答申します。

会長 小野一二（田町）
副会長 新谷秋蔵（米沢町）
委員 各部会長、各副会長、伊藤準一郎（大川）、加藤正松（石崎）、金子松之助（館町）、小山誠（新畑町）、笹尾知（古川町）、沢田石栄之助（湯ノ又）、館岡忠（県議会事務局）、永井慶二郎（川原町）、畑沢一視（湯ノ又）、分銅日香（紀久栄町）、蒔田光郎（新町）

「100人会議」 今後の日程

- ▼九月下旬
第二回部会 各部会ごとの意見交換
- ▼十月
委員視察研修 各部会ごとの視察研修
- ▼十一月下旬
第三回部会 前部会における意見の集約と可能性について、本プランの協議
- ▼十二月下旬
第四回部会 各部会の最終的な意見のとりまとめ
- ▼一月中旬
総合調整会議 提言事項の調整、答申事項のとりまとめ
- ▼一月下旬
全体会 町長へ答申する事項の承認、まちづくり百年の将来像

杉沢小が県知事賞を受賞

秋田県緑の少年団活動発表大会で

秋田県緑の少年団交流集会が、八月十日から三日間、岩城少年自然の家を会場にして行われ、二日目の「活動発表大会」において、杉沢小学校緑の少年団が活動内容を高く評価され、県内でただ一校秋田県知事賞を受賞しました。

杉沢小学校緑の少年団が結成されたのは、昭和五十四年四月一日。現在、二十八人の団員で組織されており、今回の受賞では、①地域の特徴を生かした活動を行っている。②他校との交流、他団体との協力など活動に工夫がみられる。③薬草茶作りや水生昆虫の調査・研究など、そのユニークな活動は、自然界全体のバランスがとれている。④今後の方向として、都会の学校との交流計画を持っている。の四点が高く評価されたものです。

同校の緑の少年団は、来年六月に行われる全国緑の少年団交流集会へ、秋田県代表として参加します。

なお、次に掲げる作文は、県の交流集会の時に発表したもので、活動内容が詳しく書かれていますので紹介します。



森吉山で登山（森林教室）をする子供たち

特色ある緑の少年団活動めざして

杉沢小学校六年 金沢吉起

ぼくたちの学校は、太平山県立自然公園の中に位置する緑豊かな山の中にあります。

学校の周りが、どんなに自然に恵まれているかは、映画「イタズ」のロケ地選ばれたことから、はっきりしています。

しかし、ぼくたちは、この豊かな自然にただあまえていくわけではありません。地いきの自然の特ちょうを考え、それを生かし、発展させるための手づくりの活動を行っています。

ぼくたちの緑の少年団活動には、他校にはちよつと例がない取り組みがいくつもあり

二時間もかかる登山は、本当につかれます。でも、登ると中にあるブナ林の木々の美しさ、ときおり見える景色の雄大さが、登山のつかれをいやしてくれます。さらに、苦労して登った後の頂上から見えるながめのすばらしさは、「登山してよかった。」と思わせるのに十分です。

頂上で昼ご飯を食べた後に、営林署のおじさんたちから、山や森林のはたらきについての話を聞きます。見たこともない高山植物の名前も教えてくれました。とても小さな高山植物の一つ一つが、豊かな自然の条件を備えていないと生きていけないことがよくわかり、豊かな山の自然を守っていかねばならないと考えさせられました。

この登山の何よりの収めは、他校との共同の体験によって、ともに助け合い、苦しさを分けあうことの良さに気づき、友だちもたくさんできたことです。

一方、レクリエーション活動でも、他校との共同によって、交流を深めています。グループに分かれて行う「地いきウォークラリー」は、知らない友だちどうしがいっしょになっても、すぐに仲良しになります。

決められたコースを決められた時間で矢印にしたがつて進んでいくのですが、と中にクイズがかくされています。このクイズをさがし、答えを考え出すことによって、

知らないうちに、自分たちの地いきのことを覚えてしまいました。友だちといろいろ相談して解き進んでいくうちに仲良しになってしまいうても楽しい活動です。

学校周辺にある薬草を集めてつくる「薬草茶づくり」も他にはないユニークな活動だと思います。これは、実に地いきでつくっている人を学校に呼んで、つくり方を教えて取り組んでいるものです。アマチャヅルやゲンノシヨウコなど七つの薬草を全校で集めてきて、日光に何日かさらして、かんそうさせます。

雨に当たるといけないので、これがなかなか手間がかかります。かさかさにかわいたのを細かく切って、薬草茶の出来上がりです。去年は、この薬草茶を地いきの祖父母に配って、実さいに飲んでもらいました。

地いきの人たちからは、「いちょうにきく」とか「つかれがとれる」とかの感想もきかれなかなかの評判です。この薬草茶は、去年の県種苗交歓会の学校農園コンクールにも出品し、新聞で「ユニークな取り組みだ。」と紹介されました。

ぼくたちは、奉仕活動も積極的にを行っています。全校クリーンアップは年二回、通路となべつて遠足などで人がたくさん集まる川原の清そうをしています。この取り組みをする前は、山菜とりやきの

ことりに来る人たちが捨てていったゴミがあちこち目につきました。しかし、クリーンアップを行ったことにより、ゴミがないことに気がひけるのか、捨てられる空きかんやゴミの量がめつきり少なくなりました。

また、けい流づりで有名な馬場目川にすむ水生こん虫の分布を調べ、川の自然保護もうたえています。私たちの近くの川には、カゲロウやトビゲラなどきれいな川にしかすまない水生こん虫がたくさん分布していることがわかりました。研究の成果をPTA参観日などに発表して、父母に水生こん虫の研究を通して、「きれいな川を守ってこう。」と呼びかけています。

その他にも、学校林での野鳥観察、山菜、きのことり、校庭への植樹、学校菜園での野菜づくりなど数々の活動を行っています。

さらに、これからの計画として、今、交流を進めている東京の神田小学校の友だちにも活動の内容を紹介し、ぼくたちの学校を訪れたときに、いっしょに活動を行うことです。そのことによって都会の子どもたちに豊かな自然の良さを体験してもらいたいと考えています。

ぼくたちは、これからも自分たちだけでなく地いきの人にもためになる緑の少年団活動をすすめていくつもりでがんばっています。

馬場目川川下り大会

河川浄化の標語を掲げ 9チームが参加



浅瀬でイカダを引っぱる参加者たち



優勝した琴丘町の「ものずき丸」

第八回馬場目川川下り大会は、八月二十日午後一時三十分から、五城目橋から竜馬橋までの約五キロの区間で、五城目町、八郎潟町、琴丘町より九隻が参加して行われました。この大会は、馬場目川と八郎湖の浄化を呼びかけ実施されたもので、競技規定には、手作りイカダで動力は人力に限ることや、河川浄化のキャンペーン標語をイカダに掲げること。そして、「河川を汚すようなイカダの参加は認めない」という、この大会ならではの規定も盛り込まれていました。

大会は、午後一時三十分から開会式が行われ、川の水位が上がった二時十七分の出発の合図とともに、一分毎に九チームがスタート。ゴールの竜馬橋をめざし、自慢の手作りイカダで熱戦が繰り広げられました。

今年は、異常なまでの晴天続きのため水位の低い所があったところにあり、参加者たちはイカダを引いて歩いたり、苦闘をしいられましたが、途中の橋や沿道からは、見物に訪れた町民や応援団から盛んな声援が送られ、参加選手を励ましていました。

成績は次のとおり。(敬称略)

▼優勝 ものずき丸(見上正治) 琴丘町

▼準優勝 八郎潟夫婦会(山内幸雄) 八郎潟町

- ▼3位 小館自動車商会(小館武志) 八郎潟町
- ▼4位 秋田銀行(本間忠司) 五城目町
- ▼5位 一番町親睦丸(石井隆) 五城目町
- ▼優秀賞 五城目信用金庫(鎌田岬) 五城目町
- ▼努力賞 大川海洋部(畠山喜道) 五城目町
- ▼努力賞 盟友会(渡辺辰美) 五城目町
- ▼キャンペーン賞 秋田銀行標語「故郷を思う心に馬場目川、清き流れを未来に残すが我らの務め」
- ▼ハッスル賞 菊地合板木工(猿田末治郎) 五城目町

献血ありがとうございます



献血に協力する五城目高校の皆さん

献血車による献血が、九月二日、五城目高校前で行われました。献血にご協力くださいました方々のお名前は次のとおりです。(敬称略、太字数字は献血回数)

- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 一関 文男 3 | 渡辺 忠孝 1 | 石井 彰 1 | 松坂 真紀 2 |
| 佐々木修一 1 | 小野 洋 2 | 飯塚 正志 2 | 伊藤 千穂 1 |
| 伊藤 孝栄 2 | 北嶋 淳二 1 | 奈良 千賀 4 | 伊藤 真理 2 |
| 工藤 孝行 1 | 一ノ関広和 1 | 沢田石真弓 1 | 二田ミミ子 2 |
| 佐々木早苗 1 | 菅原 早苗 1 | 川村 桂子 1 | 大宮ミエ子 2 |
| 鎌田 希 1 | 安田貴久子 1 | 森田 恵 1 | 伊藤百香子 2 |
| 石井 照美 1 | 石井 靖子 1 | 鈴木 健治 1 | 谷村 政博 3 |
| 小柳 大輔 1 | 渡部 雅美 1 | 村上 敬三 2 | 草皆 学 2 |
| 畠山 徹 1 | 小納 宏幸 1 | 田中 里志 2 | 大石 義人 1 |
| 宮田 茂 1 | 高橋 明子 1 | 土橋 亘 2 | 工藤 恵 2 |
| 佐々木マツ子 1 | 工藤由香 1 | 桜庭 正美 2 | 寺西 健一 1 |
| 畠山美紀子 1 | 斉藤 忍 1 | 遠藤 隆幸 1 | 湊 洋二 1 |
| 佐藤久美子 1 | 伊藤 春樹 2 | 奈良 薫 2 | 仲島かおり 2 |
| 工藤由紀子 1 | 伊藤 学 2 | 椎名 知 4 | 近藤 美華 2 |
| 近藤 章 2 | 工藤真由美 1 | 後藤 武之 1 | 佐藤 佳代 2 |
| 伊藤真由美 1 | 小浜 葉子 1 | 三浦磨理子 2 | 越高 直美 1 |
| 渡部志保子 1 | 石井 理佳 1 | 石井ゆかり 1 | 千葉 貴志 1 |
| 佐藤由紀子 1 | 工藤智華子 1 | 畑沢 千秋 1 | 安田 康子 2 |
| 松田 早苗 1 | 鑑 敏春 19 | 鎌田ひとみ 1 | 堀 珠恵 2 |
| 椎名 靖孝 8 | 工藤 明子 2 | 草階 初美 1 | 渡辺 利香 2 |
| 館岡 理子 1 | 山田 美紀 2 | 菅原美佐子 1 | 須田登志子 21 |
| 伊藤 憲司 1 | 遠藤 弘子 1 | 千田 善吉 5 | |

農林中央金庫を受賞



受賞を喜ぶ委員の皆さんと保坂先生

このたび、内川小学校こども信用協同組合が、全県優良こども信用組合表彰式において農林中央金庫理事長表彰を

受賞しました。内川小学校こども信用協同組合は、こどもたちにお金の大切さを知ってもらい、無駄使いをなくそうと、昭和三十一年から始められ、以来三十四年間、その活動は続いています。参加率は百パーセント。貯金の方法は、毎週金曜の朝子どもたちがこづかいの節約などで持ってきたお金を、組合委員六名が集め、それを集計しており、現在の貯金総額は六百万円を超えています。今回の表彰では、賞状のほかに副賞としてキャビネットも贈られ、子どもたちや先生はとても喜んでいました。

健康の基本的条件

快便 快食 快眠

介護用品
いろいろ揃っております。

五城目 **中央薬局**
五城目町市場通り ☎52-3217

引越・荷造・貸切・宅配

赤帽こばやし運送

五城目町富津内下山内
代表 小林 信一 ☎52-9583

お気軽にご相談下さい (年中無休)

ふれあい広場

おじいさん
おばあさん
こんにちは

築地町

渡部 愛さん(90歳)



れは八十歳から始めました。七時半頃、抹茶をたてて戴きます。とても健康にいいです。八時頃から九時頃まで、ドラマを見ながらゆっくりご飯を食べます。朝ごはんは一日のうちで一番おいしいです。かぼちゃが好きで年中食べています。食事は栄養のバランスを考え、いろいろなものを少しずつ、腹八分目を心がけています。食後は一時間程休みます。午後は茶室でお弟子さんと一緒にお茶を楽しんでいます。夕食後はテレビや新聞を見て、八時半には大好きな風呂に入り、九時にはベッドに入ります。

— 楽しかった
— 思い出は
七十歳の頃、京都のお寺を見て歩いたのが楽しい思い出です。孫の公夫がていねいに案内してくれました。あと、奥入瀬溪流を四年かけて歩いたのも楽しかったです。

生者の資格を取り、現在もお弟子さんに作法を教えているという、とても達者な愛おばあさんを自宅に訪ね、お話を伺いました。

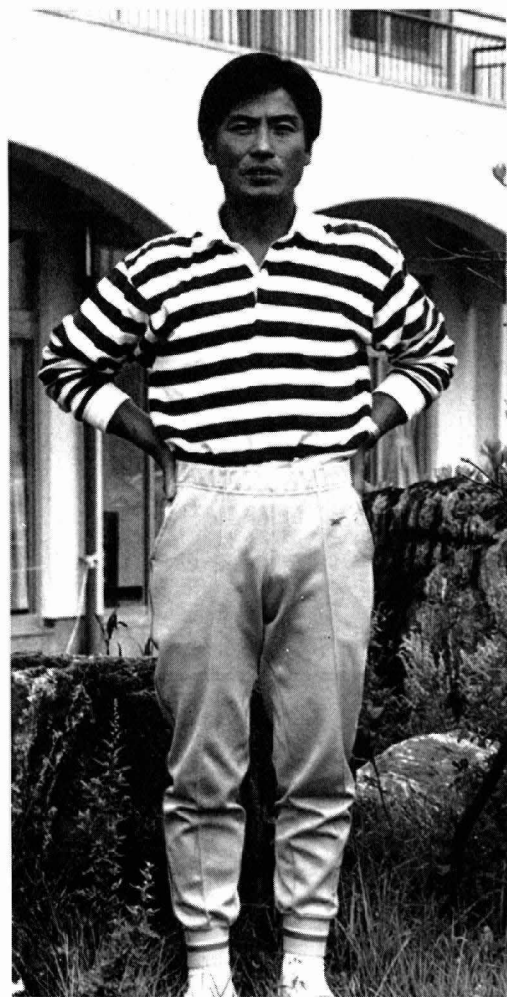
— 毎日の日課は

朝四時半頃起きて部屋を掃除し、畑の見回りをします。いろいろな野菜を植えていて、成長がとても楽しみです。六時半頃家に入り二十分ほど読経をあげます。それから、前の日の日記をつけます。こ

— 今一番楽しいことは
みんなと一緒にお茶を飲むことが一番楽しいです。
— ご家族の方は
おばあさんは自分で何でもやります。明治の人として、自然体で生きてきたと思います。

“健康第一。できる限り人の世話にならないで生活していきたい”と語ってくれた愛おばあさん。いつまでもお元気です。

Coffee・Time 今回 伊藤 清春さん



登山を始めて二十年。「以前は山の景観や、汗を流して頂上に立った時の解放感に魅力を感じていましたが、現在は、自分がいかに自然の中に溶け込んでいけるか、ということに興味があります」と心境を語る。

いとう きよはる

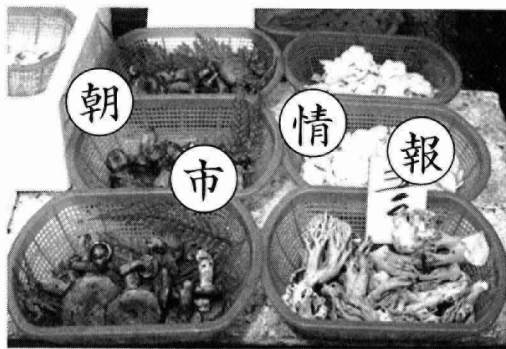
1950年12月24日生まれ。田町・住。やぎ座。O型。県立能代工業高校卒。製材所に勤務する伊藤ハナさんの二男。高校時代に友達に誘われて鳥海山に登ったのがきっかけで山が好きになり、今年8月に秋田市制100周年記念として行われた秋田市蘭州市合同登山隊には、実力をかわれりリーダーの一人として参加。未踏の甘肅省・アルチン山(標高5,798m)へ登頂、成功の原動力となる。現在、五城目木材(株)に勤務。



剣岳(つるぎだけ)でルートワークをする伊藤さん

田県から報道隊や医師も含め二十三人。中国蘭州市からは、通訳や地元隊員ら十六人が参加。八月二日から九月一日までの一カ月間の日程で行われた。伊藤さんの役目は、登攀(トハク)高山の岩壁や氷壁を登る)ザイル工作と、アイゼンやピッケルの技術指導。なかなかの大役であるが、「自分の体力と技術の五割くらいしか出していないので完全燃焼ができなかった」と、物足りなさを感じた反面「高所登山にむいている」と自信を持ったそうだ。

そして、「秋田県で最初の八千メートル峰のサミッター(登頂者)になりたい」と抱負を語る。その夢が、ごく近い将来に実現できそうである。



さといも 1株 500円
栗 1升 800円
マタタビ 1kg 300円

【キノコ(100g)】

ナメコ 100円, シメジ 250円
スギキノコ 250円, ハツタケ 400円
ホウキダケ 250円

—9月12日現在—

* 食欲の秋が到来。さといもや栗、キノコが出回り始めています。

佐々木澄子さん
(下出戸・50歳)
さといもを作っていますが、夏、雨が降らなかったため、水かけっぱなしでした。砂地で育ったので、おいしいですよ。おつゆや煮物に最高ですよ。

秋のかおりが
いっぱい！

MUSICAL いっは3・3・7拍子

五城目公演 せまる！



“稔”役で大はりきりの五城目大五郎
(ダルマを持っている人)

9月25日(月)
広域体育館

五城目町大川出身・五城目大五郎(本名・大川原永善さん、二十七歳、五城目高校出身)が出演する、劇団ふるさときやらばんのミュージカル「ムラは3・3・7拍子」上演まであとわずかとなります。

郷土での初舞台を応援しようとして結成された「五城目大五郎応援団」は、下夕町にかまえた事務所を拠点に、盆踊り大会やきやどっこ大パレードへの参加、看板設置、垂れ幕など、町内全域でPR活動を繰りひろげています。

また当日は、「さくら、ふるさと街づくり運動」を推進している劇団ふるさときやらばんら三団体から、町へ桜の苗木百本が寄贈されます。

▽日時 9月25日(月) 午後6時開場(6時30分開演)

▽場所 広域体育館

▽入場料 大人2千600円、中・高校生2千100円(当日は400円増し)

※乳児および小学生の方は入場できません。お子さまづれの方は、託児室を設けておりますので、安心して預けておくことができます。

やさしい米料理

《その12》

調理方法
① ハム・チーズ・くるみ・カ



目黒 民子さん
〈曙 町〉

材料 (5人分)

ごはん…300g ハム…2枚
チーズ…20g くるみ…15g
カシューナッツ…20g 塩…小さじ1/2
カレー粉…小さじ1 ごま…大さじ1
こしょう…少々 サラダ油…大さじ2
ぎょうざの皮…20枚 揚げ油…適量
レモン…1/3個 トマト…1個
パセリ…少々
トマトケチャップ、ラー油…各適量

若者向け米料理

ライスぎょうざ



④ 器にぎょうざを盛り、まわりにトマト・レモン・パセリを飾り、お好みによりトマトケチャップ・ラー油・レモン汁を付け召し上がってください。

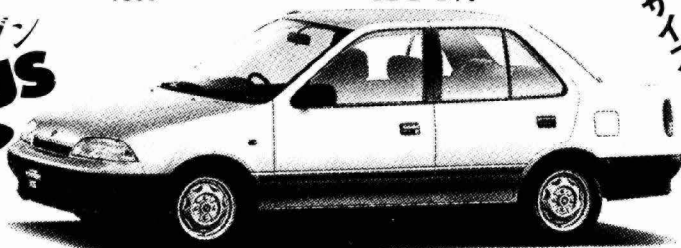
ひと口アドバイス
・好みにより、高齢者の方は大根おろし風味などにして食べても美味しくなります。

② 中華鍋に油を熱してハム・チーズ・くるみ・カシューナッツを炒め、ごはんも加えて切るように炒める。ごま・塩・こしょう・カレー粉を振り入れて味を整える。

③ ぎょうざの皮で②を包み、油を熱してきつね色に揚げます。

誕生
スズキのセダン
CULTUS
エステーム

カルタスエステーム 車両本体価格 106.6万円
1300XS



4人
やさしい
サドルにも。

おしゃれに、プチセダン。
1300に、さびげなく充実装備。

標準装備
・エアコン
・パワーステアリング
・パワーウィンドー

(有) 佐藤自動車

五城目町一番町 ☎ 52-2059



全県青年体育文化祭 五連青がV5

八月二十六日から三日間、秋田市などを会場に行われた第四十三回秋田県青年体育文化祭で、五城目町連合青年会が五年連続の総合優勝を成し遂げました。

成績は次のとおり。(敬称略)

- ▽総合 優勝
- ▽体育の部総合 優勝
- ▽陸上総合 2位
- ▽陸上女子総合 優勝
- ▽陸上男子総合 2位
- ▽バレーボール男子 優勝
- ▽相撲 優勝
- ▽剣道 準優勝
- ▽バスケット女子 3位
- ▽バドミントン 5位
- ▽文化の部総合 2位
- 【陸上競技入賞者】
- ▽優勝
- ・沢田石守 (男子800M)
- ・斉藤一 (男子三段跳)
- ・伊藤純 (男子走り高跳)
- ・石井操 (女子800M)
- ・伊藤節子 (女子走幅跳)
- ・佐藤安記子 (女子走高跳)
- ・小玉加代子 (女子砲丸投)
- ▽2位
- ・男子スウェーデンリレー
- ・女子400Mリレー
- ・高橋純子 (女子砲丸投)
- ▽3位
- ・大石芳勝 (男子5000M)

町内対抗水泳大会

黒土が初優勝

町内対抗水泳大会が、八月六日、温水プールで十一チームが参加して行われ、黒土チームが初優勝を飾りました。上位の成績は次のとおり。

- 1位 黒土 1分21秒8
- 2位 畑町 1分27秒1
- 3位 上山内 1分33秒5
- 4位 落合 1分36秒1
- 5位 古川町 1分36秒3
- 6位 蓬内台 1分39秒6



優勝した黒土チーム

町内小学校相撲大会 五小Aチームが優勝

第九回五城目町小学校相撲大会は、九月二日、雀館運動公園で六チームが参加して行われました。成績は次のとおりです。(敬称略)

【団体】

- 優勝 五城目小学校A
- 準優勝 五城目小学校B
- 3位 馬場目小学校A
- 【個人】
- 優勝 工藤 聡 (五小)
- 準優勝 畑沢 聖 (五小)
- 3位 児玉将志 (馬小)
- 3位 武田雅也 (五小)
- 【新人】(4年生以下)
- 優勝 佐々木 聡 (馬小)
- 準優勝 児玉和也 (馬小)
- 3位 田中 純 (馬小)
- 3位 奈良丈 顕 (五小)
- 【特別賞】
- 殊勲賞 西井 純 (馬小)
- 敢闘賞 佐藤俊介 (大小)
- 技能賞 金沢吉起 (杉小)
- 第8回南秋選手権兼町村対抗陸上競技大会成績
- 8月27日、元木山陸上競技場(成績は町内関係分、敬称略)
- 【A組(一般・高校共通)】
- ▽男子1500M
- ③工藤 守 4分25秒90
- ▽男子100M
- ①八柳 善春 11秒20
- ▽女子100M
- ①石井 恵 15秒40
- ②斉藤 晃子 15秒90
- ③福島 洋子 16秒10
- ▽男子200M
- ①八柳 善春 23秒20
- ③小林 一樹 28秒75
- ▽男子800M
- ②田村 健一 2分25秒19
- ▽男子砲丸投
- ①安東 敦 9M69
- ③松橋 貴宏 9M24
- ▽男子走幅跳

五城目・上小阿仁駅伝の参加チームを募集中

上小阿仁村制百周年記念・第二十五回五城目・上小阿仁間駅伝競争大会の参加チームを募集しています。

- ▽期日 10月8日(日)
- 雨天決行
- ▽コース 五城目→上小阿仁(約30km)、5区間
- ▽参加料 1チーム3千円
- ▽申込締切日 9月20日(水)
- ▽申し込み・問い合わせ先 五城目町中央公民館 電話52-4415

町内対抗ゲートボール大会日程の変更について

町内対抗ゲートボール大会は、十日が雨天のため九月二十四日(日)に延期になりました。

五城目町中央公民館



馬場目岳清掃登山参加者募集

町では、ふるさと五城目の自然を理解し、自然に親しむ豊かな心を育くもうと、馬場目岳清掃登山を計画、その参加者を募集しています。参加を希望される方は、9月20日まで役場商工観光課(電話52-2100)へ申し込んでください。

- ▽日時 9月22日(金) 午前7時役場前出発(小雨決行)
- ▽参加費 1人千円(バス代)
- ▽募集人員 先着50人
- ▽集合場所 役場前6時50分
- ▽日程 役場(7時発)→銀の沢登山口→山頂(10時45分)→銀の沢登山口→役場(16時30分着)
- ▽服装 登山に支障のない服装で、靴ははきなれたもの
- ▽携行品 昼食、帽子、雨具、水筒、着替え、軍手その他

司法書士法律相談を開催

10月1日～3日

秋田県司法書士会が主催する「全国一斉司法書士法律相談」コーナーが開設されます。内容は次のとおりです。

▽日時 10月1日(日)～3日

今月の町税

固定資産税3期分と
国保税2期分の納期限は
9月30日です

納期内納付に
ご協力をお願いします

最新システムグローワックス掛

洗車会員募集

何度WAXしても、1カ月会員 3000円

●上記洗車・ワックス掛の他、当店で車内清掃も含んでこのお値段です。

きれいな面倒くさがり屋さんは集まって下さい。



湖東商事 有限会社

五城目町大川国道7号線添い ☎75-3550・4317

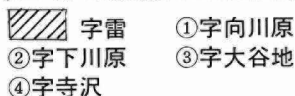
カラー
プリント

30分 仕上げ

イトウカメラ
伊藤写真館

新畑町(ガーデン松竹向い) ☎52-3667

石川 富司
(館 町)



本町にある雷は参考図に示してある土地であるが、ここは富津内川と寺沢が合流する地点に集落（富田）があり、この字の周囲は向川原、下川

このように由利町の五十土と富津内富田の雷は地形から見てもわかるように全く等しい土地環境にあることを知ることができると。

なのに、由利町の五十土は自然現象から生まれた地名であるのに、富田の雷はどうして生まれたものであろうか。

ある地名辞典では、雷地名は雷（かみなり）の多発する所であり、洪水の起こりやすい所とあるので、富田の雷は

洪水という地の不利を打ち消したための要求からきた、少しでも気休めにしたいたがための雷神にあやかったのかも

ねない。なににしても五十
 への当て字であらうと思う。
 五十土の五十はイソと読む
 が、この五十は磯にも当てら

れている。五城目町は昔五十
目村であつた。今は役場のあ
る所は磯ノ目。町民歌には「率
浦の昔を継ぎて」が、冒頭に

ある。
馬場目川と富津内川が合流して大氾濫した過去の五十目村は五十土の目（磯の目）でなかったらうかと思う。

▽場所 秋田ニューシティ
「ダイエー」5階（秋田市
大町2丁目3番27号）

▽相談内容 司法書士の業務に関する相談（不動産の相続・売買・贈与等、法人・会社の登記、供託、訴訟関係書類作成等）※無料です

▽照会連絡先

・秋田市山王6丁目2番10号
大丸ビル 秋田県司法書士
会 ☎24-0187

・秋田市山王6丁目1番26号
担当者 秋田県司法書士会
秋田支部 ☎62-5383

この度、恩給欠格者の方の

うち、外地等に勤務した経歴を有し、加算年を含めた在職年が三年以上で、請求時において日本国籍を有する方には、書状（内閣総理大臣名）を、さらに、七十歳以上の方には高齢者の順から銀杯を贈呈することになりました。

書状および銀杯の贈呈は、請求に基づいて行われます。請求書類等詳しいことは、役場住民課（☎52-2100）へお問い合わせください。

特別弔慰金として額面十八万円、六年償還、無利子の国債が支給されます。

対象となるのは、昭和六十
年四月一日から平成元年三月
三十一日までに、公務扶助料

ただし、第四回特別弔慰金の支給の対象となった遺族は対象となりません。請求の期

限は平成四年六月二十七日まで。受付窓口は役場住民課（☎52—2100）か県国保援護課（☎60—1355）へ。

特産品開発コンクール
参加作品を募集中

第九回秋田県特産品開発コンクール（秋田県など主催）への参加作品を募集しています。

募集する種別は①観光土産品（人形・玩具・装飾品）②工芸品（家具を除く木竹工芸

品・織物) ③菓子・食料品(酒類を含む) ④金属工芸品 ⑤陶器 ⑥ギフト・セット ⑦前記各

部門のパッケージ・デザイン
の七部門。応募資格は個人、
企業およびグループを問いま

せん。申し込み締め切りは、十月五日までとなっています。詳しくは、役場商工観光課

52 | 210
合わせください。

着つけ教室生徒募集

▽日時 10月から毎週金曜日
土曜日の2回、入学随時、
昼の部午後2時から、夜の

▽会場および問い合わせ先

五城目町上町35（新町）
北日本学院 講師
北嶋啓子 52—2043

結核のない社会へ：
複十字シール運動を展開

五城目町結核予防婦人会では、「まごころで築く結核のない社会」を合い言葉に、今年も複十字シール運動を展開しています。期間は九月いっぱい。

この運動は、結核予防事業を進めるための資金を生み出す目的で行われているもので、皆さんからの募金は、胸の病気の研究や調査、検診車やX線機械、検診センターなどの整備、結核予防関係講習会など、結核をなくすために利用されます。

税
国税だより
お年寄りや
障害者と税

国の重要な役割の
社会保障があります。

なかでも、お年寄りや心身に障害がある人など、社会的、経済的に弱い立場にある方々に対しては、その生活を安定させるため、社会連帯に基づく支えが必要です。

老人医療費給付や各種施設の整備など、財政支出の面で社会保障を充実させる一方、税金の面でもいろいろな特典が設けられています。

詳しくは、最寄りの税務相談室や税務署（☎45—1161）にお尋ねください。

9月 町民カレンダー

9月15日
10月5日

- 15・敬老の日
- 16・17・全県中学校新人水泳競技大会（温水プール、16日13時30分）
- 18・内川保育園「ぶどう狩り遠足」（植村農園）小泉湯公園、9時30分）
- ・耳鼻科検診（五城目第一中学校14時）※中学一年生を対象に実施します。
- 19・大川保育園「内科健診」（大川保育園13時30分）
- ・まちおこし町民100人会議（町民センター13時30分）※各部会ごとのサブテーマに基づいた意見交換とフリートーク。
- 20・大川婦人学級移動研修（秋田市南部公民館、出発8時30分）
- ・母子健康手帳の交付と妊婦健康相談の日（役場保健室10時15分）※妊娠届（用紙は役場にありま）と印鑑を持っておいでください。
- 21・五城目保育園「すこやか学級」学習会（五城目保育園13時）
- ・2歳児歯科健康診査（役場保健室、受付時間12時45分13時15分）※対象は昭和62年3月から5月10日までに生まれた幼児です。
- ・森山荘「清掃奉仕作業」（9時）※大川保育園
- 周辺の草取り、草刈りを行います。
- 21・30・秋の全国交通安全運動（雀館運動公園運動広場9時）
- ・馬場目岳清掃登山（出発役場前7時）※五城目町の最高峰へあなたも挑戦してみませんか。申し込みは役場商工観光課へ。
- ・9月定例教育委員会（役場13時30分）
- 22・23・生涯学習奨励員研修交流会（鹿角市）
- 23・秋分の日
- 25・全町花だん巡り（全町9時）
- 26・森山荘「秋の運動会」（森山荘庭園10時）
- ※五城目地区、大川地区の在宅一人暮らし老人を招待して行います。
- 28・大川保育園「水泳教室」（温水プール10時）
- 29・老人看護講座（町民センター13時15分）
- ・乳児健康診査（役場保健室、受付時間13時13時30分）※対象は昭和63年11月生まれと平成元年5月生まれです。
- ・森山荘「デイ・サービス」（森山荘9時15時）
- 在宅一人暮らしの老人を招待し、入浴、食事などのサービスを行います。

10月 ごみ収集日程表

「もえるごみ」		曜日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町 今 町、御蔵町、小池町、川原町、新 町 一番町、古川町、紀久栄町、館町、中川原 樋 口、岩城町	2日・5日・9日・12日・16日 19日・23日・26日・30日	月・木
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、矢場崎、仲町、長町、米沢町、 雀館、昭辰町、大川（1区～4区）	3日・6日・13日・17日・20日 24日・27日・31日	火・金
大川（1区～4区以外の地区）、馬川地区、馬場目地区、森山地区、富津内地区、内川地区	4日・7日・11日・14日・18日 21日・25日・28日	水・土

「もえないごみ」	空ビン等・曜日	空カン等・曜日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町、 今 町、御蔵町、小池町、川原町	14日・第2土	28日・第4土
新 町、一番町、古川町、紀久栄町、館 町、 中川原、樋 口、岩城町	13日・第2金	27日・第4金
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、 矢場崎	12日・第2木	26日・第4木
仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川（1区～4区）	11日・第2水	25日・第4水
大川（1区～4区以外の地区）、馬川地区、森山地区		24日・第4火
馬場目地区、富津内地区、内川地区	9日・第2月	23日・第4月

- 注 意
- ・台所のごみ（もえるごみ）は必ずよく水切りをしてから出してください。
 - ・「もえるごみ」と「もえないごみ」を混同して入れてある場合は収集しません。
 - ・祝日および振替休日は収集しませんので注意してください。
 - ・ゴミ1個を10kg以内にこん包して出してください。

五城目町清掃センター TEL52-9904

庁舎ギャラリー ご案内

旭台会書道展

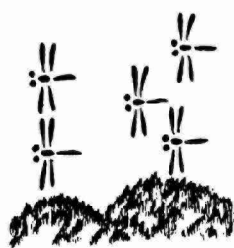


庁舎玄関ロビーでは、九月一日から伊藤蓮沼（義男）一門による「書」を展示しています。
会の名前は「旭台会」。小学校近辺の台地「旭台」からとったもので、活動をはじめて二年ちよつと。現在、会員は小学生から六十歳代までの二十七人で、伊藤先生の添削指導を受けて勉強を続けています。

今回展示されているのは、条幅十三点、半紙二十二点、色紙二点の合計三十七点です。

十月は、絵画サークル「彩（いろどり）」の皆さんの絵画です。

テレホン広報「じょうめ」
52-4141



文芸作家を訪ねて
今回は、上田町の工藤ミネ子さんをお訪ねし、俳句の楽しみなどについてお話を伺います。

	月	火	水	木	金	土	日
9/18 ～ 24	文芸作家を訪ねて 工藤ミネ子さん						
25 ～ 10/1	暮らしのフポイント 眼鏡の取り扱い			10月8日は木の日 木材製品の良さを見直そう			
2 ～ 8	街角インタビュー			劇団ふるさときやらばん 五城目 大五郎			

テレホン広報
「じょうめ」の
ご案内